

平成 30 年度岡山市市民協働推進モデル事業
中間評価表

実施団体	特定非営利活動法人 YouthCreate		
協働部署	選挙管理委員会事務局		
記入日			

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況	今後の対応
出前授業を通じて若者の政治参画意識を高めると共に WASAO レター作成メンバーの増加につなげる。	<p>■実績</p> <p>(1) 出前授業実施校: 4 校 7/11 県立岡山工業高校 10/9 明誠学院高等学校 10/25 KTC おおぞら高等学院 11/13 県立瀬戸南高校</p> <p>(2) 実施後のメンバー増加: 0 名</p> <p>■所感など:</p> <p>・当初の計画では 2 校の実施予定だったが 4 校に増やすことができた。(当初の予定が少なかったためではなく、実施校を増やすことを優先したため。)</p> <p>・現時点では WASAO レター作成メンバーの増加にはつながっていないが、出前授業で WASAO レターを使用することで、レターに対する理解・認知は広がっている。</p>	<p>・準備や予算の都合もあり、実施校はこれ以上増やさない。</p> <p>・さらなる実施校の拡大に向けて大学生の役割を増やすことを考える。</p> <p>・各学校の先生と丁寧な打ち合わせができています。ひきつづき、それぞれの学校の特徴(人数など)やニーズに合わせた準備・運営に留意する。</p>
WASAO レター作成により高校生、大学生の日常的な政治的会話の増加と若者と行政がつながる機会を作る。	<p>■実績: 現在までに 2 号発行(当初計画どおり)</p> <p>■所感など:</p> <p>・平成 29 年度のモデル事業で構築したプログラムをもとにワークショップを運営している。</p> <p>・参加した高校生の興味と関心をもとに原稿を作成して</p>	<p>・11 月 7 日以降、新たな参加者を募集している。作業は 12 月 26 日、27 日を中心に冬休み期間中を予定している。</p> <p>・大学生も新たに公募する。</p> <p>・最低でも高校生 10 名、大学生 4 名程度に参加してほしい。</p>

	<p>いる。完成形を想定しながら議論を誘導する必要があるため、進行には一定の経験が必要であると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインと構成に対して好意的な評価が多く聞かれる。 <p>デザイナーが関わっていることが大きいほか、高校生の写真が手に取りやすさを向上させている。</p>	い。
<p>出前授業実施学校における定量・定性調査 (出前授業前・出前授業後・WASAO レター送付後・年度末に実施)</p>	<p>■実績:平成30年12月18日、WASAO レター復(夏の一部)完成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,959件のアンケート回答を集計済。 ・アンケートでは出前授業参加前後の意識変化などを計っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定以上の回答数が集まっているため集計に時間がかかると思われるが、現時点では特別な対応は必要なし。
<p>参加大学生の意識の変革の調査</p>	<p>■実績:未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了前にヒアリングを行う予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記のとおり、事業終了前に大学生へのヒアリングを行い、意識・意欲の変化を確認する。

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック (できたものに☑)	指標 (※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市 (協働部署) の方針や計画を理解している (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。

	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない（協働部署が回答）。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない（実施団体が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない（協働部署が回答）。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない（実施団体が回答）。
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。